

秋建時報

<http://www.a-kenkyo.or.jp>

秋建時報

平成25年4月1日(第1227号)



発行／(社)秋田県建設業協会

秋田市山王四丁目3番10号

TEL 018(823)5495

FAX 018(865)2306

国土交通省

25年度公共工事設計労務単価公表

減少から増加に転じる

秋田県 主要職種で前年比平均+19.8%

国土交通省は、同省及び農林水産省及び平成24年10月に実施した公共事業労務費調査に基づき、平成25年度当初からの公共工事の工事費の積算に用いるための公共工事設計労務単価（基準額）を決定、3月29日に公表した。

東北6県における主要職種の労務単価は表のとおり。

資料掲載先：国土交通省ホームページ・報道発表資料

http://www.mlit.go.jp/report/press/totikensangyo14_hh_000354.html

(問い合わせ先：

国土交通省 土地・建設産業局 建設市場整備課)

職種	秋田			青森			岩手		
	今年度	前年度	増減割合	今年度	前年度	増減割合	今年度	前年度	増減割合
特殊作業員	17,200	14,200	+21.1%	18,200	15,000	+21.3%	18,200	14,300	+27.3%
普通作業員	13,500	11,100	+21.6%	13,400	11,000	+21.8%	15,100	11,800	+28.0%
軽作業員	10,900	8,900	+22.5%	10,100	8,300	+21.7%	11,000	8,700	+26.4%
とび工	16,000	13,300	+20.3%	16,500	13,700	+20.4%	16,600	13,200	+25.8%
鉄筋工	17,700	14,700	+20.4%	17,400	14,500	+20.0%	18,300	14,500	+26.2%
運転手(特殊)	18,800	15,500	+21.3%	19,600	16,200	+21.0%	20,100	15,700	+28.0%
運転手(一般)	18,300	15,100	+21.2%	17,900	14,700	+21.8%	16,900	13,300	+27.1%
型わく工	19,200	16,000	+20.0%	17,600	14,600	+20.5%	19,000	15,100	+25.8%
大工	17,800	14,800	+20.3%	17,800	14,800	+20.3%	19,800	15,700	+26.1%
左官	15,200	13,300	+14.3%	15,300	13,100	+16.8%	16,400	13,600	+20.6%
交通誘導員A	8,500	7,400	+14.9%	8,500	7,400	+14.9%	9,600	7,900	+21.5%
交通誘導員B	7,900	6,800	+16.2%	8,000	6,900	+15.9%	8,900	7,400	+20.3%
平均	15,083	12,592	+19.8%	15,025	12,517	+20.0%	15,825	12,600	+25.6%

職種	宮城			山形			福島		
	今年度	前年度	増減割合	今年度	前年度	増減割合	今年度	前年度	増減割合
特殊作業員	19,500	15,400	+26.6%	17,200	14,200	+21.1%	19,400	13,900	+39.6%
普通作業員	15,100	11,800	+28.0%	13,500	11,100	+21.6%	15,000	10,700	+40.2%
軽作業員	11,900	9,300	+28.0%	11,400	9,400	+21.3%	12,900	9,200	+40.2%
とび工	18,900	14,200	+33.1%	16,200	13,500	+20.0%	17,900	14,900	+20.1%
鉄筋工	22,400	16,800	+33.3%	18,100	15,100	+19.9%	18,600	15,500	+20.0%
運転手(特殊)	21,400	16,800	+27.4%	17,800	14,600	+21.9%	18,100	12,900	+40.3%
運転手(一般)	19,200	15,100	+27.2%	16,100	13,300	+21.1%	16,300	11,600	+40.5%
型わく工	21,000	15,700	+33.8%	16,900	14,100	+19.9%	18,900	15,700	+20.4%
大工	21,800	16,500	+32.1%	17,600	14,600	+20.5%	17,900	14,900	+20.1%
左官	17,100	14,900	+14.8%	16,500	13,800	+19.6%	16,900	14,700	+15.0%
交通誘導員A	10,600	8,800	+20.5%	9,600	8,400	+14.3%	10,300	8,600	+19.8%
交通誘導員B	9,700	8,000	+21.3%	8,900	7,600	+17.1%	9,600	7,900	+21.5%
平均	17,383	13,608	+27.7%	14,983	12,475	+20.1%	15,983	12,542	+27.4%

協会

第5回理事会・第4回協議員会

新年度予算・事業計画を審議

秋田県建設業協会は3月29日、平成24年度第5回理事会及び第4回協議員会を開催し、新年度予算・事業計画を始めとした議事を審議した。

議事では、定時総会召集、平成25年度予算のほか、事業計画として▽防災・減災のための強靱な国土づくりと経済再生のための社会資本整備の推進▽地域社会を支える建設業の健全な発展▽建設業における社会的責任への対応▽戦略的な広報活動の推進▽魅力ある労働環境づくりと労働災害防止対策等の推進など大きく5項目を掲げ、原案通り可決承認となった。また、報告事項として、「秋田県建設業協会

ビジョン」を説明した。

【審議事項】

- 1) 平成25年度定時総会の招集について
- 2) 平成25年度会費について
- 3) 平成25年度事業計画及び収支予算について
- 4) 秋田県建設業政治連盟の活用について

【報告事項】

- 1) 秋田県建設業協会ビジョンについて



協会・工事情報共有システム研究会

工事監理官 ASPサービスの 料金を改定

平成25年4月1日以降の
新規申請案件から

この度、秋田県建設業協会にて取扱いしている東北地方整備局発注工事において運用される工事情報共有システム「工事監理官ASPサービス」の利用料金が改定となりました。

これまで、月額18,000円(税抜)で取扱いしておりましたが、平成25年4月1日以降申請の新規契約案件から月額14,000円(税抜)での取扱いとなります。

なお、昨年度以前から既に契約・利用中の契約案件については、旧料金が適用されますのでご注意ください。

※工事監理官ASPサービスは秋田県建設業協会Webサイトでご案内しております。

(詳細は、協会Webサイト・トップページの「工事監理官」バナーをクリック)

協会

建設共済及び建退共制度説明会

県内7地区で開催

秋田県建設業協会は、秋田県仙北建設業協会を皮切りに県内7地区の建設業協会との共催により、3月4日から18日にかけて建設共済及び建退共制度説明会を開催し、会員とその関係の建設企業から延べ149名が参加した。

説明会は各地区の建設業会館で開かれ、(財)建設業福祉共済団の町田業務課長、新名業務課長、(一社)秋田県建設業協会の越後屋業務係長(建退共秋田県支部担当)を講師に建設共済と建退共それぞれの制度について、概要から手続き、注意事項等の説明が行われた。

また、説明会終了後に、実際の手続き・処理などについて希望者による個別相談



を行った。

説明会内容

【建設共済】

- ・更新契約手続き等について

【建退共】

- ・法改正についてのお知らせと注意事項
- ・加入履行証明書の交付基準等について

協会

地区協会が一般社団法人へ移行

公益法人制度改革に伴う

この度、先般からの公益法人制度改革に伴い、県内6地区の建設業協会が一般社団法人へ移行しました。

※秋田県建設業協会、能代山本建設業協会、秋田県仙北建設業協会は平成24年度に一般社団法人へ移行。

- ・一般社団法人 鹿角建設業協会
- ・ " 北秋田建設業協会
- ・ " 秋田中央建設業協会
- ・ " 由利建設業協会
- ・ " 平鹿建設業協会
- ・ " 雄勝建設業協会

(以上6法人・4月1日付)

協会

職員人事の お知らせ

(一社)秋田県建設業協会
[採用]主 事

佐藤 たえ子(4月1日付)

建設企業へ就職する 高校生への支援

車両系建設機械(締固め用)特別教育

秋田県建設業協会は、雇用改善推進事業の一環として、県内工業系高校の生徒を対象に車両系建設機械(締固め用)特別教育を実施した。

今回の特別教育は建設企業への就職が内定した高校生を対象に募集が行われ、県内工業高等学校4校から17名の生徒が受講。講習は建災防秋田県支部(村岡淑郎支部長)に委託して行われた。

講習初日の3月5日は秋田市山王のルポールみずほを会場に学科講習を実施。翌日6日には会場を秋田市下北手御所野の建災防教育講習所に移し、ローラー車の実機を用いて運転講習が実施された。

[参加高校・受講者数]

- 大館工業高等学校 4名
- 男鹿工業高等学校 2名
- 由利工業高等学校 3名
- 大曲工業高等学校 8名



秋田・鉄 路の情景

Vol.
6

「スーパーこまち デビュー」

秋田新幹線 E6系

文と写真/加藤隆悦

フリーカメラマン兼フリーライター
取材・執筆歴/旅の手帖、WoodyLife、
ベンチャー・リンク、郷、ある他
海外取材歴/ドイツ、アメリカ、ブラジル
写真塾・写楽 主宰/写真教室、撮影ツアー
企画等



秋田新幹線の第二世代となるE6系「スーパーこまち」が、いよいよ3月16日から営業運転をスタートさせた。従来の新幹線列車にはない赤い塗色が鮮烈な印象を与える。

これまでの「こまち」が最高速度275km/hであったのに対して、「スーパーこまち」は最高速度300km/h、そして一年後には世界最高速となる320km/h運転が始まる。

ただし、若干「断り書き」が必要な世界最高速ではある。300km/h超のスピードを出すのはあくまでも盛岡から先の東北新幹線区間とのこと。盛岡と秋田のあいだはカーブの多い在来線転用区間となるため、いかに高速性能に優れた最新型車両でもスピードを抑えた走行をしなければならない。

E6系の在来線区間の最高速度は、これまでのE3系と同じ130km/h。今回の撮影ポイントである羽後境～大張野間のS字カーブ区間に至っては、80km/hの速度制限もかけられている。E6は、持てる力の四分の一しか発揮できないことになる。

これまでの「こまち」でもそうだが、秋田から東京まで全区間を通して乗ってみると、盛岡を境にしてスピード感の違いは歴然としている。特に下りの場合は、盛岡まで最高275km/hで疾走してきた分だけ、約半分の速度に落ちてしまう盛岡から先の区間では、まるで何かの事情で徐行でもしているのかと思ってしまうくらい。

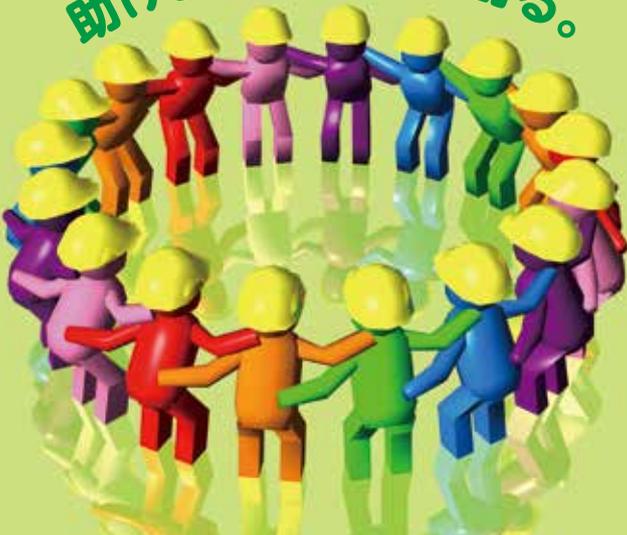
E6スーパーこまちに試練があるとすれば、実はその点ではないかと思う。東北新幹線区間でスピードアップした分だけ、相対的に在来線区間での速度が一層遅く感じられてしまう…と。

しかし、それはそれでいいのではないかと、筆者は思う。

秋田は(盛岡からこっちの岩手県区間も含めて)自然が美しい。息苦しいほど建物が密集した都会と比べても北東北の風景は人々の気持ちをはっきりとしたものにしてくれるはず。「スーパーこまち」の乗客も、雪解けが進めば線路端のフキノトウを見つけることも出来るだろう。

E6系スーパーこまちが秋田路をのんびりと走るのにはある意味では最高のサービスと、言えるのではないだろうか。

助け合い、未来を創る。



建設業界による自主的な
共済保険で保険料が安い。

元請・下請問わず
無記名で補償。

元請・下請それぞれの
保険契約者へ重複支払い。

企業の諸費用部分も補償。

事業主(保険契約者)への
速やかな支払い。

経営事項審査において
15点の加点。

公益財団法人

建設業福祉共済団

〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-22-15 虎ノ門NSビル

取扱機関 (一社)秋田県建設業協会 〒010-0951 秋田市山王4-3-10 TEL018-823-5495 FAX018-865-2306

詳しい情報、保険料試算などの
お問い合わせは | Tel. 03-3591-8451 | <http://www.kyousaidan.or.jp/>

「建設共済保険」の他にも、次のような事業を行っています。

育英奨学 事業

被災者(死亡および身体障害者3級以上)の子供に
対して、要保期間および小学校から大学までの在学
期間中、返済不要の奨学金を継続して交付。

——しなやかに
したたかに——

菅 禮子

※1 … 蒔田明史氏、秋田県立大学生物資源学部教授

※2 … 日野原重明氏、医師・医学博士、財団法人聖路加国際病院理事長、
同・名誉院長

昭和二十年という、日本が五年間も戦い続けたアメリカをはじめとする連合国に無条件降伏した年だが、その暮れから翌二十一年にかけて東北地方は大雪だった。

朝鮮半島は京城(現・韓国ソウル市)から、リュック一つで家族と共に亡父の生まれ故郷である秋田の五城目町は馬場目村に引揚げて来たわたしは、一面白一色に埋め尽くされた雪景色を眺めて、——ああ、これがみんな砂糖だったらな——と、思った。美しいとか凄いと、そんな感想が浮かばなかったのは、それほど甘い物に飢えていたということだろう…

育ち盛り——当時わたしは十六歳だった。育ち盛りと言えるかどうかだが、三人の兄達の四人兄妹の末子で、行動の規範はすべて母や兄まかせの十六歳は身も心も共に稚かった。

身を寄せた伯父の家は、伯父、伯母、養女のユキ(夫は北支に出征して当時は中国に抑留中だった)、その子(女一人、男一人)たち、女良衆(年季奉公の女たち)三人、若衆(やはり年季奉公の男たち)二人——総勢十人の大家族。そこへわたしたち五人の引揚げ組が転がり込んだわけである。

ある日「雪室から野菜をとり出してくるように」という伯母の命令を受けた若衆二人に面白半分について行った。若衆たちがショベルで目印に杭を立ててある雪を掘り起こすと、雪の中から薯、人参、ネギ、牛蒡、さまざまな野菜が姿を現した。(これらは更に、台所の床下にコンクリートで造られた地下蔵の中に保管され冬場の折々の料理に供される)

わたしが驚いたのは、そういう雪国の暮しの知恵ではなく、雪を掻きのけた時に目に飛び込んで来た下草だった。

物みな枯れ果て、見渡す限り白一色に掩われた尺余の雪の下には、青々とした草が息づいていた。わたしはその下草の瑞々しい緑に表現し難い衝撃を受けた。

幼藍の地である朝鮮半島の京城(現・韓国ソウル市)の冬は、人びとの靴痕の模様が凍てついた地面にそのままくっきりと刻まれ、雪は滅多に降らない。そんな冬の季節を、人々は、盆栽の鉢を部屋の中にとり入れて、僅かに緑をたのしむのである。

降り積もった雪の下で、青々と息づく緑の草……それはわたしにとって、まさに祖国日本の風土との出会いの瞬間であった。

以下、*1蒔田明史氏の文より引用文——

雪の圧力に身をまかせながら、一見、厳しく見えるその条件をうまく利用して生きている。暖地の植物には見られない、

したたかな強さ！ 地表の温度が氷点下数十度になっても、雪の中の温度はそんなに下らない。

いわば、「かまくら」効果のおかげで葉をつけたまま無事に冬を越し、春先の明るい林床でいち早く効率的に光合成を開始することができる。

目を閉じると、日本という国——そこに暮しを営む国民の形成する社会——は、まさにこの雪の下に息づく青草と言えはしまいか——

科学、学術、芸術、スポーツ、医療……あらゆる分野でめざましい研究成果をあげながら、恣意的に核ミサイルを撃ち出して周辺を威嚇することも、他国の領海に自国の船を出没させて挑発することもなく、ただしなやかにしたたかに、世界に誇る経済大国として活気にみちた社会を現出している。

人びとは流行の服(衣類)を身にまとい、飽食、享楽に身をゆだねて街中を闊歩している。引揚げ後、わたしたち一家の祖国における歩みは厳しかったが、おかげで叔父の家から自立してそれぞれの暮しを営むことができた。

しかし、この活気に溢れた社会相に一抹の不安を抱くのはわたしだけだろうか……

繁栄のつぼとも言うべきこの日本の社会は、一方では己の欲望のままに窃盗、詐欺、放火、金品強奪、殺人——子が親を殺し、親が子を殺す——繁栄にみちた社会は犯罪のつぼなのだ。しかもそれらの犯罪を犯す年代が年々低年齢化している。彼らは環境にとけこめず、相談する成人不在の中で生き方に行き詰まると、犯罪に走るか、あるいはいとも簡単に自殺してしまう。

ここでわたしの年頭に浮かぶのは、*2日野原重明氏のお詞である。

“人はどう生きて来たかではなく、これからどう生きるか…自らデザインすることだ”

これこそあらゆる可能性とさまざまな重圧の中で雪の下の青草のように、よりしなやかに、よりしたたかに重圧を逆手にとって光明をわがものとする生き方を工夫する——

そういう生き方を物みな充たされているようでありながら、馴染めない魂を抱いて彷徨する次世代に伝え、教えることが、昭和の初めに生まれて戦争による飢餓と、戦後の繁栄即ち飽食、それぞれの時代を体験したわたし達の一つの在り方と思うのだが——